

令和7年度事業報告

生産年齢人口の減少に伴い労働力や担い手の確保が必要とされている中で、シルバー人材センターは就業を通じて貢献できる仕組みを提供しております。

シルバー人材センターの規模を表す会員数は年々減少傾向にあります。令和7年度においても、毎月開催している「入会説明会」を茅野本所だけでなく、富士見事務所においても4回開催し、富士見地域・原地域の会員確保に取り組みました。

また、7年度から会員が入会者を紹介した場合にポイントを付与する「ポイント制度」を導入しました。入会者73名の内16名が会員の紹介によるものであります。

令和6年11月1日からフリーランス法が施行されました。フリーランス法は、契約上の取り決めが履行されない場合や支払いの遅延等働く方々が不利益な扱いを受けないよう、安心して仕事ができる環境を整備するために制定されました。

シルバーから依頼する仕事の中で、草刈りや剪定など仕事の手順等発注者の指示を受けないで仕事を行う会員は、個人事業者として仕事を請負う形態のためフリーランス法の適用となります。（介護施設の送迎や保育補助など発注者の指示により行う仕事は派遣契約となるためフリーランス法の適用外です。）

フリーランス法では、発注者から仕事内容や報酬・支払期日等を明示することが義務化されました。シルバーは、①発注者がシルバーへ仕事を委託 ②シルバーが会員へ仕事を再委託する2段階の方法でありましたが、フリーランス法で求められる発注者から直接会員へ仕事を依頼する形態でないため、令和7年度からは契約方法の見直しを行い、発注者・シルバー・会員の三者による包括契約（別々の契約をひとつの契約にまとめる契約方法）により契約上発注者が会員へ仕事を発注する仕組みへ移行しました。

また、契約方法の見直しにより、会員へ支払う会員業務委託料（配分金）に対する消費税はシルバーが負担していましたが、発注者の負担としました。

発注者のみなさまへは丁寧に説明を行い、会員のみなさんへは「かわら版」による案内や「合同地域班会議」の中で説明をさせていただき、大きなトラブルもなく移行できましたこと感謝申し上げます。

令和7年度の業務実績を見ると、請負の契約金額は約2億2千7百17万円で前年度より約3百78万円の減収となりました。また、派遣の契約金額は約6千5百76万円で前年度比6百91万円の増となり、請負と派遣の合計金額は、約2億9千2百93万円で前年度比約3百13万円の増収でありました。

高齢化を要因のひとつとして全国的に事故が多発し深刻化しています。

各シルバーでは、加入している保険会社から支払金額が増加しているため、この状態が継続すれば保険契約できない旨の通知と保険料金の見直し案が寄せられ、保険契約中の免責額を含めた見直しが始まっています。

当センターにおいては、死亡や長期入院などの重篤事故や大きな賠償事故の発生はありませんが、労災適用や建物・車両付近では作業を禁止している「ナイロン刃」による草刈作業中の事故・冬季期間における転倒事故を含め8件（治療中含む）発生しました。

また、医療機関を受診しなかったケースや発注者が負担する交通事故も発生しました。

事故防止に向け、安全性を優先した受注受付や安全就業基準の見直し、各種講習会を継続して取り組んでまいります。

以下、令和7年度の主な事業を報告いたします。

主な業務実績

*事業受注件数	請負	1,612件	前年度比	△	59件
	派遣	34件	前年度比	+	2件
*契約金額	請負	227,171千円	前年度比	△	1.6%
	派遣	65,766千円	前年度比	+	11.2%
*会員数(3月31日現在)		543人	前年度比		5人

主な事業報告

○総会

令和7年度 定時総会を5月29日(木)、茅野市民館で開催しました。

出席者 122名 委任状 308名 計 430名

- 1) 令和6年度 事業報告の承認について
- 2) 令和6年度 決算の承認について

監査報告

以上が提案され、全て原案のとおり承認されました。

報告事項は、次のとおりです。

- 3) 令和6年度 補正予算の報告について
- 4) 令和7年度 事業計画の報告について
- 5) 令和7年度 収支予算の報告について

○理事会

令和7年度の理事会は8回開催しました。

事業等の実施状況報告、正会員の入会承認、各委員会の事業報告、配分金基準の一部改正、組織市町村長との懇談会、会員表彰規程取扱内規の一部改正等センターの運営や会員に関することなどを審議、協議しました。

○監査会

監事には、令和7年10月に4月から9月までの上半期の事業状況について監査を行っていただきました。令和8年4月には定時総会に提案する令和7年度事業報告、決算について監査を実施していただき、適正な執行であると認めていただきました。

また、理事会に出席し、業務執行について意見を述べていただきました。

○専門委員会 事業報告

1. 総務委員会

「健康とデジタル化」をキーワードに、理事会、各委員会の協力を得ながら以下の事業を促進しました。

定時総会は5月29日出席者122名と委任状308名をもって開催しました。

(1) 組織市町村長との懇談会、担当課との協議を通じ地域との連携、信頼関係の向上に努め、補助金の確保と共に就業拡大に取り組みました。

- ① 組織市町村担当課長・係長会議 (10月:事務局長 各担当者)
- ② 組織市町村長との懇談会 (11月:理事長、専務理事、理事 監事)

(2) 地域班活動活性化への取り組み。

- ① 「合同地域班会議」を今年度も6拠点で実施しました。
 - ・運営状況の報告、課題と共に「班長の役割」など周知しました。

(3) 生活・安全講話を開催しました。

- ① 「電話でお金は詐欺」の内容で市民館にて茅野警察署の講話と寸劇を行いました。
 - ・参加者 約80名

(4) ポイント制度を導入しました。

- ① 定時総会をはじめ各種行事への出席をポイント化し、制度を周知しました。
- ② 3月末現在ポイント保有者 351名 :交換ポイント(100ポイント) 達成者 84名

(5) 生涯現役に向け「健康づくりと安全」に係る講習会を開催しました。

- ① コグニサイズ (1月14日)14名
- ② フレイルの足音健康体操 (1月22日) 13名
- ③ 筋トレ体験会 (3月12日) 10名 ※参加者総数 37名

(6) デジタル化対応を促進しました。

- ① 「Smile to Smile」の導入。SMS活用を通じ迅速な情報伝達に務めました。
「Smile to Smile」登録者 351名 (3月末現在) 会員543名 64.6%

(7) 会員全体の行事企画の募集と促進を図りました。

- ① 地域班・グループで会議を開催し、交流を深めると共に意見交換しました。
 - ※ 富士見地区ごみ拾い班・スポーツ健康課環境整備会員(茅野市)

【決算概要】

単位：円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 定期総会費用(議案書印刷費・会場費・記念品等)	800,000	718,599
(2) 地域班長、合同地域班会議費用(会場費・通知費用等)	500,000	222,725
(3) ポイント制度による記念品	50,000	0
(4) 講習会費用(生活・安全講和・健康イベント、会場費・講師謝礼)	250,000	93,795
(5) 会員企画による行事实施費用	100,000	7,000
計	1,700,000	1,042,119

2. 就業委員会

新規就業会員拡大と新規就業機会創出により、活気あふれる人材センターづくりを進めて参りました。

(1) 新規会員獲得への取組み

令和7年度 会員数

- ・目標：600名 → 実績：543名
- ・入会説明会参加者：107名（前年比+10名）
- ・入会者：73名（前年比▲ 2名）
- ・退会者：68名（前年比▲ 39名）

- ① 地域に密着した入会説明会の開催（茅野/富士見、年 12 回）
- ② 会員拡大に向けたアンケートの実施（適正就業、希望就業内容等の把握）
- ③ シルバー人材センター紹介および入会説明会開催日程のPR（広報誌、新聞等を活用）

(2) 会員資質向上への取組み

① 職群班技能講習会の開催

- ・庭木剪定技能講習会（6月に実施）： 8名
- ・しめ縄飾り講習会（12月に実施）：茅野地区：10名、富士見地区：4名）

② 連合会の主催による安全衛生講習会(草刈り)未受講者の把握

- ・未受講者71名

③ 茅野SC主催「草刈安全講習会」の開催

- ・3回実施 参加者 46 名（対象者 51 名）

(3) 適正就業への取組み

- ① アンケートの分析を踏まえた新たな就業機会の検討・提案
- ② 既存事業における課題/問題点の整理と改善点の検討

《 総括 》

- ・会員拡大と就業機会の確保に取り組み、入会説明会の参加者は増加した。
- ・一方で、会員の希望する就業内容や就業条件とのミスマッチが課題として見られた。
- ・今後は会員ニーズの把握を進めるとともに、会員の能力と希望に応じた就業機会の創出に取り組んでいく。

【 決算概要 】

単位:円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 会員増強への取組み	230,000	108,000
① 会員募集に関する新聞紙掲載費用(9月・3月)	120,000	108,000
② 「入会者紹介キャンペーン」報奨費(ギフトカード 30名分)	90,000	0
③ 女性会員拡大に向けた交流会	20,000	0
(2) 会員資質向上への取組み	120,000	0
① 職群班技能講習会(会場・講師・テキスト)費用	90,000	0
② モラル・マナー講習会(会場、講師・テキスト)費用	30,000	0
計	350,000	108,000

3. 安全委員会

令和7年度も『事故ゼロ』を目指しました。

当 面 目 標 : 事 故 5 件 以 下

- ① 安全就業基準の見直しを行い、会員への周知徹底を図り、安全意識の高揚と事故防止に努めました。
 - ・草刈安全講習会を開催し、草刈会員32名が受講し事故防止に努めました。
- ② 安全委員会を適時に開催し、会員の安全意識高揚と事故防止対策等を検討し周知するとともに「安全確認シート」などを活用して事故防止に努めました。
 - ・草刈会員向け就業台帳に[危険対象の場所ではナイロン刃使用厳禁]のスタンプを押印し事故防止に努めました。
- ③ 7月から10月を「安全就業強化月間」と定め、就業現場のパトロールと会員から安全標語の募集を行い、安全対策等の周知徹底を図りました。
 - ・安全パトロール 3回実施(7月8日、9月9日、10月14日)
 - ・県安全パトロール 1回実施(8月22日)
- ④ 事故が発生した場合、事故の検証と原因の究明を行い、再発防止策を検討し会報等を通じて会員に周知しました。
 - ・事故5件以下の目標でしたが、8件の事故が発生しました。
 - 内訳は、傷害事故3件、賠償事故4件、派遣事故1件でした。
- ⑤ 草刈り中の飛び石事故対策として、石飛軽減草刈り刃の販売・飛散防止ネット及び石が飛ばない安全回転バリカンの使用推進と、会員を対象とした草刈り講習会を企画しました。
 - ・石飛の少ない草刈り刃の販売を継続実施しました。
 - ・飛散防止ネットの活用推進を図りました。
 - ・高齢者活躍人材確保育成事業で「刈払機取扱作業安全衛生教育」を実施し、14名が受講しました。
- ⑥ 運転業務会員で対象となる会員に、適性診断と、全ての会員を対象として「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布しました。
 - ・適性診断の対象となる運転就業会員14名が受講しました。
- ⑦ 他の専門委員会との共催により、「健康・安全・就業」に関する講演会や、就業別の研修会について検討し開催しました。
 - ・①、⑤、⑥、に同じ。

【安全委員会：予算概要】

○ 歳 入

○ 歳 出

単位：円

内 容	予算金額	決算金額	内 容	予算金額	決算金額
幹旋用草刈り刃収入	93,700	56,930	安全・適正推進大会費用	12,000	10,000
			幹旋用草刈り刃購入費	93,700	87,700
			草刈り会員対象講習会費用	210,000	0
			運転就業会員適正診断費用	255,000	152,600
			福祉車両講習会費用	291,000	0
計	93,700	56,930	計	861,700	250,300

令和7年度 茅野広域シルバー人材センター 安全・適正標語 入選作品

- 最優秀賞 富士見 五味 和広 会員
『繰り返す 基本作業が 身を守る』
- 優秀賞 富士見 小林 治樹 会員
『指差し 声出し 確認し 初心忘れず 危険予知』
- 佳作 富士見 五味 芳信 会員
『焦らず 無理せず 安全作業の励行』
- 安全委員会賞 茅 野 両角 直一 会員
『事故は瞬間 保護具は習慣』

4. 広報委員会

- (1) 会報「八ヶ岳の風」 第75号を8月に発行しました。
- ① 理事長をはじめ事務局からのお願いやお知らせ、各委員会との連携により活動状況や就業上の注意事項などを掲載しました。
 - ② 令和7年度 定時総会の報告を掲載しました。
 - ③ 会報を組織市町村の公共施設等へ配置し、センターのPR活動に努めました。
- (2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」第35号を令和7年4月と第36号を令和8年1月に発行しました。
- ① 理事長の年頭の挨拶、組織市町村長との懇談会報告、市町村長よりのメッセージその他の活動報告やお知らせを掲載し周知を行いました。
 - ② 広報委員が会員の就業先を訪問し、就業状況の取材や就業先からの言葉等の紹介を行いました。
- (3) 「全国普及啓発促進月間」に合わせ、高齢者活躍人材確保育成事業の助成金を活用して、新規に作成した「会員募集チラシ」を組織市町村の全世帯へ配布し、普及啓発に取り組みました。
- (4) 会報「八ヶ岳の風」、かわら版「八ヶ岳山麓だより」の編集に当たっては、委員会と印刷依頼先と十分な意見交換や校正を行い、読みたくなる誌面作りに努めました。
かわら版「八ヶ岳山麓だより」は、タイトル周りのデザインを一新し全体構成を見やすく、読みやすくなるように変えました。

【決算概要】

単位:円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 会報「八ヶ岳の風」発刊 (年間 1回 : 600部)	130,000	127,600
(2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」発行 (年間 2回 : 各 600部)	100,000	110,000
(3) 街頭啓発活動配布物 (年 1回 各地区実施)	50,000	0
計	280,000	237,600